



平成26年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月10日

上場会社名 株式会社スリーエフ 上場取引所 東
 コード番号 7544 URL <http://www.three-f.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中居 勝利
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 海老沢 克恭 TEL 045-651-2111
 定時株主総会開催予定日 平成26年5月23日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 平成26年5月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 決算説明会開催の有無 : 有・無 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期の連結業績 (平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期	22,434	△8.0	168	217.5	215	85.2	△1,153	—
25年2月期	24,397	△9.3	53	△93.1	116	△86.2	△509	—

(注) 包括利益 26年2月期 △1,149百万円 (—%) 25年2月期 △505百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業総収入 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年2月期	△152.30	—	△25.9	1.4	0.8
25年2月期	△67.20	—	△9.5	0.7	0.2

(参考) 持分法投資損益 26年2月期 —百万円 25年2月期 —百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期	14,340	4,015	26.9	509.64
25年2月期	16,099	5,212	31.4	668.02

(参考) 自己資本 26年2月期 3,860百万円 25年2月期 5,060百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年2月期	924	△227	△481	785
25年2月期	0	△638	△394	568

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
25年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00	45	—	0.8
26年2月期	—	3.00	—	0.00	3.00	22	—	0.5
27年2月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00		90.9	

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,200	△7.8	275	△29.1	300	△27.3	200	113.8	26.40
通期	21,900	△2.4	200	18.5	250	16.0	50	—	6.60

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有・無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有・無
 ② ①以外の会計方針の変更：有・無
 ③ 会計上の見積りの変更：有・無
 ④ 修正再表示：有・無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期	7,707,095株	25年2月期	7,707,095株
② 期末自己株式数	26年2月期	132,185株	25年2月期	132,135株
③ 期中平均株式数	26年2月期	7,574,927株	25年2月期	7,574,978株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成26年2月期の個別業績（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期	22,426	△8.1	152	308.3	200	96.5	△1,157	—
25年2月期	24,394	△9.3	37	△95.1	101	△87.8	△512	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期	△152.84	—
25年2月期	△67.65	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期	14,098	3,780	26.8	499.09
25年2月期	15,857	4,984	31.4	658.01

(参考) 自己資本 26年2月期 3,780百万円 25年2月期 4,984百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想につきましては、添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 経営方針	5
(1) 会社の経営の基本方針	5
(2) 目標とする経営指標	5
(3) 中長期的な会社の経営戦略	5
(4) 会社の対処すべき課題	5
3. 連結財務諸表	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当連結会計年度の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和等による景気回復への期待感から円安や株高が進行し、輸出や設備投資に持ち直しの傾向が見られるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、デフレの流れからは脱却したとは言えず、原材料価格や電気料金の上昇などもあり、消費増税後の景気動向が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような環境の下、当社グループは「スリーエフらしさ」をビジョンとして掲げ、クリーンネスやフレンドリーサービスといった商売の基本の徹底を図りつつ、他チェーンとの差別化、差異化を明確にし、個店の魅力を底上げすることで、お客様にまた利用したいと思われるお店作りを目指しました。運営面では、個店の分析を深め、より地域商圈に沿った品揃えを行い、商品面では、オリジナルブランド商品の強化とともに、もちぼにょをはじめとした独自性の強い商品の開発に取り組んでまいりました。また、不採算店の閉鎖等によるコスト削減や、仕入条件の改善などにより、収益性の向上を図ってまいりました。以上の結果、当連結会計年度の営業総収入は前期比8%減の224億34百万円となり、営業利益は前期比217.5%増の1億68百万円、経常利益は前期比85.2%増の2億15百万円となりました。しかしながら店舗固定資産を対象とした減損損失4億34百万円、不採算店舗の閉鎖による店舗閉鎖損失3億3百万円を含む特別損失を7億91百万円計上したこと、および繰延税金資産5億90百万円を取崩したことなどにより、当期純損失は11億53百万円となりました。

コンビニエンスストア事業の概況

店舗運営につきましてはPOSデータとTポイントデータの活用により個店毎の使われ方を分析し、売場とお客様のニーズのギャップを埋めることで、より売場の提案力を向上させております。また、全面リニューアルや販売什器などの追加投資や駐車場の改修など既存店の店舗イメージの改善と、QSC向上に特化した教育組織としてエリアコーチを新設して店内体制の強化に努めるなど、ハード、ソフト両面で加盟店支援を強化いたしました。

商品面ではオリジナル商品のブランドをFSTYLE(エフスタイル)に統一し、お弁当、惣菜、パン、デザート等のデイリー品から、ドリンクや雑貨類まで、付加価値を高めたオリジナル商品を展開しました。また、店内で焼き上げて販売するこんがりスナックに代表されるファーストフードが好調に推移したほか、もちもちした食感のシュー生地にかスタードクリームをたっぷり入れたオリジナルデザートのもちぼにょが、SNS等の口コミによる評判が相乗効果となって空前のヒット商品となりました。さらに、エリアに特化した商品を調達する組織を新設し、出店エリア内の魅力的な商品を地域限定で販売するなど、個店の商品力強化を図りました。

店舗開発面では組織機能を変更し、出店までのプロセスを見直すなど出店強化に努める一方、競合他社の積極的な出店増により、不採算店舗のうち将来的に収益改善が見込めない店舗については次期の出店への経営資源を確保するため、当初の計画に追加して閉店いたしました。この結果、店舗数につきましては、開店8店舗、閉店49店舗となり、総店舗数563店(エリア・フランチャイズ契約に基づく四国地区は78店、スリーエフ店合計641店)となっております。

②次期の見通し

今後のわが国経済は、政策効果により、雇用改善や景気回復の兆しは見え始めているものの、消費税増税の影響など消費マインドの減退要因もあり、先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

このような環境の下、当社グループは「スリーエフらしさ」をビジョンに掲げ、個店毎に必要な品揃えを具体化する「個店力最大化計画」を推進し、クリーンネスやフレンドリーサービスなどの商売の基本を守りつつ、個店商圏や客層のニーズに応えるお店作りを実現してまいります。具体策として、新型米飯ケースや青果什器などの販売什器の導入や、豆の品質と挽き方にこだわった一杯取りコーヒーマシンの全店導入など、効果的な設備投資を行うとともに、個店・エリア毎のターゲット客層に沿ったマーチャンダイジングを深掘りし、魅力的な商品提案を充実させることで、来店客数の持続的向上を目指してまいります。

以上の結果、平成27年2月期の通期連結業績につきましては、営業総収入219億円（前期比2.4%減）、営業利益2億円（同18.5%増）、経常利益2億50百万円（同16.0%増）、当期純利益につきましては50百万円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①当連結会計年度末の資産、負債、純資産の状況

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ17億59百万円減少し、143億40百万円となりました。これは主に建物及び構築物が3億48百万円、敷金及び保証金が5億59百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ5億62百万円減少し、103億24百万円となりました。これは主に加盟店買掛金が3億39百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ11億96百万円減少し、40億15百万円となりました。これは主に利益剰余金が11億99百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比べ2億16百万円増加し、7億85百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純損失が5億50百万円となりましたが、未収入金が1億55百万円減少（前連結会計年度は74百万円の増加）したこと、法人税等の支払額が16百万円（同3億39百万円の支払）となったこと等により、前連結会計年度より9億24百万円多い9億24百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が2億89百万円（同4億57百万円の支出）、敷金及び保証金の差入による支出が1億24百万円（同3億57百万円の支出）となったこと等により、前連結会計年度より4億11百万円少ない2億27百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、ファイナンス・リース債務の返済による支出が4億34百万円（同3億16百万円の支出）となったこと等により、前連結会計年度より87百万円多い4億81百万円の支出となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成22年2月期	平成23年2月期	平成24年2月期	平成25年2月期	平成26年2月期
自己資本比率	31.7	35.9	32.8	31.4	26.9
時価ベースの自己資本比率	23.3	24.2	21.2	21.6	22.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	2.5	0.9	0.5	2,088.6	1.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ	36.9	47.4	92.9	0.0	27.7

・自己資本比率：自己資本/総資産

・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

・キャッシュ・フローの対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要事項として位置づけ、持続的な成長を実現するために必要な内部留保を図りながら、業績に裏付けされた成果の配分を行うことを基本方針としております。

しかしながら、通期業績が大幅な赤字であること、および収益構造の改善や財務体質の強化が最優先すべき経営課題であると考え、当期末の配当金については誠に遺憾ながら無配（既に実施済みの中間配当3円）とさせていただきます。

次期につきましては、中間配当3円と期末配当3円の合わせて年間6円を予想しております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

平成23年2月期決算短信(平成23年4月7日開示)により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ) <http://www.three-f.co.jp/>
(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))
<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

(2) 目標とする経営指標

平成23年2月期決算短信(平成23年4月7日開示)により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ) <http://www.three-f.co.jp/>
(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))
<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは中期経営ビジョン「スリーエフらしさ」の創出に基づき、他チェーンとの差別化、差異化を明確にし、個店の魅力を底上げすることで来店頻度の向上を図ってまいります。

(4) 会社の対処すべき課題

商品企画の強化

主力であるFF・米飯商品においては素材品質の向上、価格帯と品揃えの拡充を図りつつ、こだわりの食材調達と製法・見栄え等の追求により、購買意欲を刺激する魅力的な商品開発を進めてまいります。gooz(グーツ)からの商品や提供方法におけるノウハウのフィードバックなどを通じて、個店商圏のニーズに対応する、商品企画の向上に努めてまいります。

売場作りの強化

営業方針の徹底によるフレンドリーサービス日本一の実現を目指し、クリーンネスや接客レベルの向上を継続して図ってまいります。これにはスタッフの活用度向上が最重要課題であると捉えており、オペレーションの習熟度と貢献度を体系化したスター・ブルー・プログラムやエリアコーチ等によって、店舗スタッフのレベル向上を図ってまいります。また、基幹情報システムやストアカルの活用などによって、定番商品の欠品撲滅と、死に筋商品の排除に努め、個々の店舗環境に応じた品揃えを実現することで、お客様の購買意欲を刺激するプロモーションのある売場作りを目指してまいります。

物件精度の向上

立地や経済条件における優位性を確保すべく、重点エリアを設定し、そのエリアに集中した出店を行い市場占有率を高めてまいります。また、新規物件における収益性の向上を図るほか、運営部門と連携し、駐車場の拡張やスクラップ&ビルドなどを効果的に実施し、既存店競争力の強化を図ってまいります。

良質なオーナーの育成・輩出

独立研修社員制度は、独自の育成手法によって優秀な加盟者を育成する「暖簾わけ」制度として定着しております。今後は経済状況の変化を踏まえ、独立開業への不安を解消する具体的手段として、一層の拡充を図ることで、経営理念をはじめ、高い接客レベルや売場提案力の身についたオーナーを輩出し、質と量の両面においてドミナント出店の強化につなげてまいります。

3. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当連結会計年度 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	871	1,087
加盟店貸勘定	1,047	1,096
商品	305	273
貯蔵品	8	6
繰延税金資産	198	1
前払費用	423	397
未収入金	1,057	735
その他	124	145
貸倒引当金	△4	△1
流動資産合計	4,031	3,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,580	7,045
減価償却累計額	△5,399	△5,213
建物及び構築物(純額)	2,181	1,832
工具、器具及び備品	66	64
減価償却累計額	△57	△58
工具、器具及び備品(純額)	9	6
土地	872	872
リース資産	2,067	2,452
減価償却累計額	△697	△1,088
リース資産(純額)	1,370	1,363
建設仮勘定	2	6
有形固定資産合計	4,436	4,081
無形固定資産		
ソフトウェア	492	323
その他	60	60
無形固定資産合計	553	384
投資その他の資産		
投資有価証券	60	59
長期前払費用	11	6
敷金及び保証金	6,606	6,047
繰延税金資産	391	-
その他	27	27
貸倒引当金	△20	△10
投資その他の資産合計	7,078	6,130
固定資産合計	12,067	10,597
資産合計	16,099	14,340

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当連結会計年度 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	438	380
加盟店買掛金	3,604	3,264
加盟店借勘定	17	25
リース債務	399	492
未払金	861	812
加盟店未払金	69	68
未払法人税等	33	42
未払消費税等	2	24
預り金	2,428	2,321
賞与引当金	232	220
その他	41	42
流動負債合計	8,129	7,696
固定負債		
リース債務	1,082	1,086
役員退職慰労引当金	23	18
資産除去債務	892	863
長期預り保証金	759	655
その他	0	4
固定負債合計	2,757	2,627
負債合計	10,887	10,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,396	1,396
資本剰余金	1,645	1,645
利益剰余金	2,095	896
自己株式	△86	△86
株主資本合計	5,051	3,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	8
その他の包括利益累計額合計	8	8
少数株主持分	152	155
純資産合計	5,212	4,015
負債純資産合計	16,099	14,340

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
営業収入		
加盟店からの収入	10,700	9,912
その他の営業収入	3,621	3,377
営業収入合計	14,321	13,289
売上高	10,075	9,145
営業総収入合計	24,397	22,434
売上原価	7,408	6,599
売上総利益	2,666	2,545
営業総利益	16,988	15,835
販売費及び一般管理費		
販売手数料	237	350
広告宣伝費	397	457
役員報酬	84	71
従業員給料及び賞与	2,359	2,211
雑給	1,011	861
賞与引当金繰入額	232	220
退職給付費用	67	63
法定福利及び厚生費	404	386
運送費及び保管費	2,857	2,678
水道光熱費	1,195	1,257
消耗品費	124	111
修繕費	90	92
支払手数料	606	585
減価償却費	1,129	926
地代家賃	4,674	4,403
賃借料	645	244
貸倒引当金繰入額	△6	△4
その他	825	747
販売費及び一般管理費合計	16,935	15,666
営業利益	53	168
営業外収益		
受取利息	81	81
受取保険金	13	-
還付加算金	-	9
その他	6	18
営業外収益合計	101	109
営業外費用		
支払利息	28	33
減価償却費	8	17
その他	0	11
営業外費用合計	37	63
経常利益	116	215

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
特別利益		
受取補償金	17	25
特別利益合計	17	25
特別損失		
減損損失	177	434
店舗閉鎖損失	402	303
その他	22	53
特別損失合計	601	791
税金等調整前当期純損失(△)	△467	△550
法人税、住民税及び事業税	32	5
法人税等調整額	5	592
法人税等合計	37	598
少数株主損益調整前当期純損失(△)	△504	△1,149
少数株主利益	4	4
当期純損失(△)	△509	△1,153

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
少数株主損益調整前当期純損失(△)	△504	△1,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△0
その他の包括利益合計	△1	△0
包括利益	△505	△1,149
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△510	△1,154
少数株主に係る包括利益	4	4

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,396	1,645	2,680	△86	5,636
当期変動額					
剰余金の配当			△75		△75
当期純損失(△)			△509		△509
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△584	△0	△584
当期末残高	1,396	1,645	2,095	△86	5,051

(単位：百万円)

	その他の包括利益累計額		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	10	10	149	5,795
当期変動額				
剰余金の配当				△75
当期純損失(△)				△509
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△1	△1	2	1
当期変動額合計	△1	△1	2	△583
当期末残高	8	8	152	5,212

当連結会計年度(自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,396	1,645	2,095	△86	5,051
当期変動額					
剰余金の配当			△45		△45
当期純損失(△)			△1,153		△1,153
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△1,199	△0	△1,199
当期末残高	1,396	1,645	896	△86	3,852

(単位：百万円)

	その他の包括利益累計額		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	8	8	152	5,212
当期変動額				
剰余金の配当				△45
当期純損失(△)				△1,153
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△0	△0	3	2
当期変動額合計	△0	△0	3	△1,196
当期末残高	8	8	155	4,015

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△467	△550
減価償却費	1,137	944
減損損失	177	434
のれん償却額	7	-
店舗閉鎖損失	402	303
受取補償金	△17	△25
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	△5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	△12
受取利息及び受取配当金	△82	△82
支払利息	28	33
加盟店貸勘定の増減額(△は増加)	△29	△48
未収入金の増減額(△は増加)	△74	155
たな卸資産の増減額(△は増加)	30	32
前払費用の増減額(△は増加)	33	26
その他の流動資産の増減額(△は増加)	24	△20
仕入債務の増減額(△は減少)	△554	△397
未払金の増減額(△は減少)	△132	17
預り金の増減額(△は減少)	△67	△157
未払消費税等の増減額(△は減少)	△50	50
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△81	△2
その他	14	12
小計	286	706
利息及び配当金の受取額	82	82
利息の支払額	△28	△33
補償金の受取額	-	43
法人税等の支払額	△339	△16
法人税等の還付額	-	142
営業活動によるキャッシュ・フロー	0	924
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△302	△302
定期預金の払戻による収入	302	302
有形固定資産の取得による支出	△457	△289
敷金及び保証金の差入による支出	△357	△124
敷金及び保証金の回収による収入	658	648
無形固定資産の取得による支出	△185	△91
その他	△296	△371
投資活動によるキャッシュ・フロー	△638	△227
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△316	△434
配当金の支払額	△76	△45
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△394	△481
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,032	216
現金及び現金同等物の期首残高	1,601	568
現金及び現金同等物の期末残高	568	785

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)及び当連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)

当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
1株当たり純資産額	668.02円	509.64円
1株当たり当期純損失金額(△)	△67.20円	△152.30円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
当期純損失(△)(百万円)	△509	△1,153
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△)(百万円)	△509	△1,153
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,574	7,574

(重要な後発事象)

該当事項はありません。